

第51回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	永廣ゼミ	チーム名	永廣クリニック
タイトル	職業としての YouTuber		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー	井岡啓吾 向井怜央 藤本拓 吉谷伊織 立入麻有 摺出寺梨子		
研究計画内容	<p>研究の背景</p> <p>小学生の憧れの職業でも上位にランクインしている人気の職業 YouTuber。コロナ禍で苦しむ企業が多い中 YouTube にチャンネルをつくり新しく YouTube を始める人も多いのが現状だ。今の日本にどのような部分が合っているのか。YouTube の需要が上がっているのはなぜか。放送媒体の代表テレビとはどのような違いがあるのか。知り合いにも YouTuber の方がいるので実際に話を聞いて色々学ぶいい機会になると思い、このテーマに決定した。</p> <p>研究内容</p> <p>本研究では、自分たちで YouTube という媒体がどのようなものかまず捉える。収入源、どのような仕事があるのか、奥深く掘り下げる。視聴者から見た YouTube と YouTuber から見る YouTube との違いを実際に YouTube を職にしている先輩にお話を伺って工夫があればまとめる。</p> <p>1 番の YouTube 発展につながるテレビにも出ているタレントがたくさん YouTube を始めたこと。テレビと YouTube との比較をする。その際ただ比較するだけでなく、YouTube の良さだけでなく、むずかしさや苦しい部分もしっかりと表す。そしてコロナ禍でも進化を続ける要因と世の中にどのような影響を及ぼすのか自分たちでまとめて発表する。</p> <p>期待される効果</p> <p>YouTube とは YouTuber の動画だけでできているわけではない。沢山の様々な動画をいつでも自分の好きな時間に見ることができる。今外出が自由にできない環境におかれる人にとってそれがどれほど心の支えか。ただ動画を提供するだけでなく広告会社や YouTuber に PR されることによって助かる企業も少なくないだろう。今回自分たちが取り上げることによって世間から認められた職業として成り立ち、さらには実際に今職業として動画を上げている人にお話を聞くことで今後の自分たちの就職活動にもいい影響を及ぼしてくれると考える。自分たちが、気付いてない部分で世の中にいい影響を及ぼすことを全員が気づくことができるいい機会を自分たちの発表で作りたい。そして YouTube という媒体がもっと大きくなり、YouTuber という職業が大きくなるのが期待される効果である。</p>		